

議員全員協議会

市から議会へ次のような報告がありました。

『青天を衝け』大河ドラマ館の開設について

大河ドラマ『青天を衝け』

渋沢栄一翁を主人公としたNHKの大河ドラマ『青天を衝け』は、令和3年1月からの放送開始を予定しており、主演を俳優の吉沢亮さんが務め、近代日本のあるべき姿を追い続けた渋沢栄一翁を描きます。

大河ドラマ館とは？

大河ドラマをPRするための期間限定の施設で、主に主人公ゆかりの地に置かれ、展示エリア、物販エリアから構成されます。展示内容は、ドラマセットや撮影で使用した衣装・小道具の展示、メイキング映像の上映などからなり、館内では大河ドラマの世界観を楽しむことができます。市内外から多くの来館者を見込むことができますが、事業費として約4億～5億円が必要となります。この事業費を賄うため、自治体負担金及びドラマ館入場料、テナント収入、協賛金などを充てています。



設置場所選定のポイント

- ・大河ドラマ館の誘客効果とともに、中心市街地の活性化を図ることができる場所
- ・施設周辺で、観光やお土産を買う、食事ができるなど回遊性を図ることができる場所
- ・常時、普通車200台以上、バス20台程度の駐車場が確保でき、最寄り駅から徒歩を含めアクセス良好な場所
- ・期間限定のため、新たに建設するのではなく既存施設を活用
- ・既存施設は、耐震性に問題がなく延床面積1,000㎡以上が確保できること
- ・既存施設を市民が利用している場合、施設周辺で代替施設が用意できること

(仮称)深谷大河ドラマ館概要(予定)

- ターゲット：主に首都圏、特に県内および隣接県の住民
- 場 所：深谷公民館（1階部分）
- 開館期間：令和3年1月～令和4年1月
- 来館者目標：50万人



議会のうごき

10月	11月	12月
行事内容 8(火) 伊勢崎市・本庄市・深谷市議会合同研修会、懇親会 17(木) 公明党 行政視察 ～18日 愛知県名古屋 ・地方自治体監査の基礎実務 18(金) 深谷市戦没者追悼式 24(木) 議員派遣 ～25日 新潟県新潟市ほか ・国家戦略特区指定の「新潟市のスマート農業」ものづくり産業の活性化 29(火) 議員全員協議会 深谷同志会 行政視察 ～31日 岩手県大船渡市ほか ・市議会災害対応指針等の策定と防災訓練 ・東北地方での尾高惇忠の活動、評価・学力向上推進事業	行事内容 18(月) 議会運営委員会、議員全員協議会 25(月) 議会運営委員会、議会開会、議案説明 28(木) 議案質疑	行事内容 2(月) 総務委員会 3(火) 福祉文教委員会 4(水) 産業建設委員会 9(月) 一般質問 10(火) 一般質問 11(水) 一般質問 13(金) 議会運営委員会、議会閉会、議員全員協議会

へんかや市議会だよりは、点字版とCD版を発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会(TEL573-6566)へご連絡ください。

●委員長 馬場 茂
 ●視察先 千葉県木更津市

議会のICT化

木更津市は、タブレット端末を平成29年度から導入し議会のICT化を進めている。導入目的は①利便性の向上②経費の削減③労務の削減④情報伝達の迅速化である。端末はレンタル契約で、機種はiPad12.9インチ、Wi-Fiも活用できる。サイドブックスで通信環境があればパソコン等が一体に利用できる。使用基準でフォルダー名・資料名を統一し、会議の通知や資料提供に活用している。

その他の視察先
 代表質問制とプロジェクターの活用
 東京都調布市



10.3～10.4

●委員長 茂木 一郎
 ●視察先 大阪府箕面市

子ども成長見守りシステム

子どもの貧困問題対策から「子育てしやすい日本」のまちづくりを目指し「教育と福祉の融合」を政策の柱とする取り組みである。子どもの貧困問題全般について、関係する全ての部署でデータの

共有をしている。子どもの成績向上から家庭内の問題までフォローするシステムを構築する事により、子育て世代の定住を促進し、府内トップの人口増加の成果をあげている。

その他の視察先
 タブレットを使った遠隔手話通訳サービスの実施
 兵庫県明石市他



11.5～11.7

視察報告

●委員長 柴崎 重雄
 ●視察先 兵庫県たつの市

自立のまちづくり事業

「見せよう、示そう、市民の底力」を目標に掲げ、市民が主体となって、地域のために自ら考え自ら行動することを目的に、地域の身近な公共施設を守る活動、地域の活性化を図る活動などの事業を支援する。特色は、活動に対して、年間10万円から30万円の補助金を交付している点である。市民のニーズや社会情勢の変化等を踏まえ、メニューの廃止・追加を行いながら、現在は9つのメニューを実施している。

その他の視察先
 地域防犯対策事業
 兵庫県高砂市 他



10.9～10.11

●委員長 武井 伸一
 ●視察先 広島県三原市

「みはら食・三本の矢」による三原創生事業

「官民協働」の取組で①行政は協議会の設立支援を行うほか民間団体とともに「みはら食」のブランド化に向け認証制度の創設、運用を行う。②飲食店等の民間事業者は新たな商品開発等に取り組む。

③地元プロ野球球団である広島カープは「みはら食」のブランド化に向けたコラボ商品の開発等による付加価値の創出や、カープ女子と三原市スイーツ女子との連携、情報発信を行う。以上、様々な取組で成果を上げている。

その他の視察先
 西条酒蔵通りを活用した観光施策
 東広島市 他



11.5～11.7